

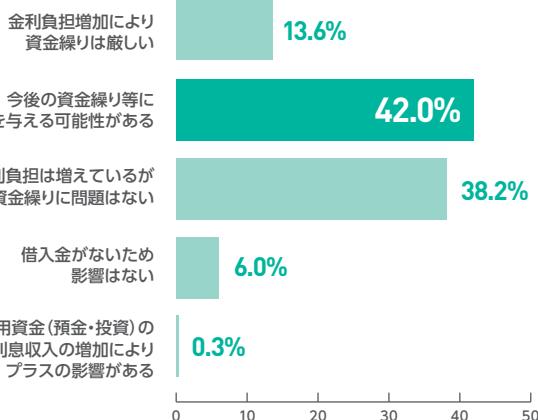
# 金利変動の影響と金融機関との取引について

昨今の金利環境の変化は、企業の借入条件や資金運用の選択に大きな影響を与えています。金利上昇を背景に、資金調達や投資判断の考え方を見直す企業も増えています。こうした状況を踏まえ、自社における借入方針や投資判断、金融機関との取引スタンスの現状についてアンケートを実施いたしました。

調査時期／2025年11月18日～12月3日 調査対象企業数／1560社 有効回答数／369社 有効回答率／23.7% ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。

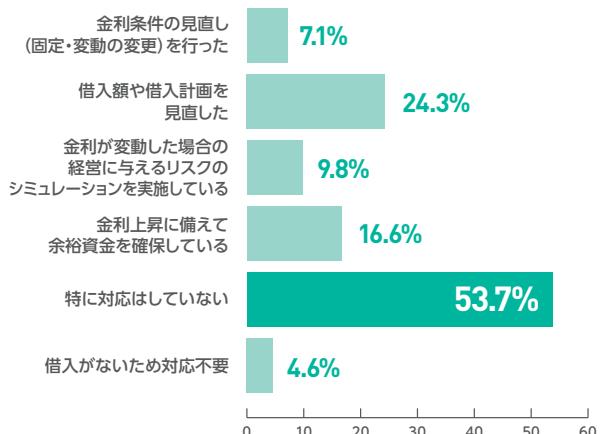
## Q1

現在の金利水準が、貴社の資金繰りにどのような影響を与えていますか。※1つ選択



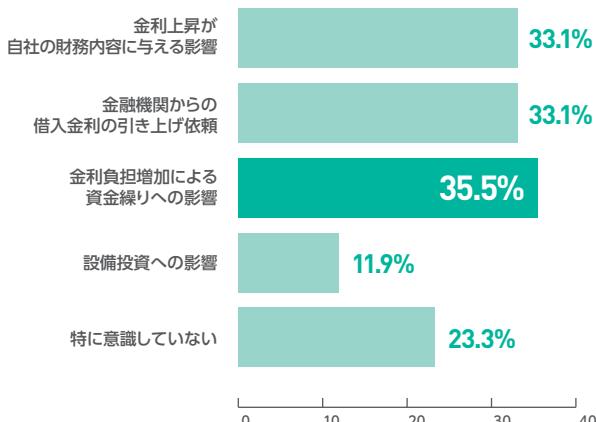
## Q2

金利変動に伴い、貴社ではどのような対応を行っていますか。※最大2つ選択



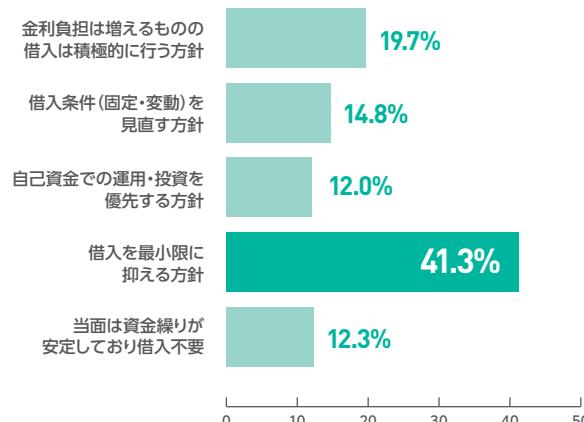
## Q3

今後の金利動向で特に懸念している事項は何ですか。※最大2つ選択



## Q4

貴社では、金利上昇局面において、資金調達についてどのような方針を採用しますか。※1つ選択



## Q5

金利上昇局面における貴社の金融機関との取引スタンスに近いものを、該当するものから選んでお答えください。※最大2つ選択



信頼できる金融機関との長期取引を重視している

**70.0%**

金利よりもコンサルティングサービスを重視している 2.7%

借入条件(利率・期間・返済条件)を重視している

**29.7%**

借入金を分散してリスクヘッジしている 11.4%

特に意識せず取引している 13.5%

金利上昇時は金融機関の変更や借換も検討する 9.5%